

ITOIGAWA RESIDENT TIMES

THE SURROUNDINGS OF ITOIGAWA RESIDENT

イトイガワ レジデント タイムズ

PROGRAM DIRECTOR, SHIGEAKI SAWADA



出会いの春、糸魚川には今年3名の先生方が糸魚川総合病院を基幹型として初期臨床研修を開始しました。清水先生は来年2月まで練馬光ヶ丘病院での研修になります。

3月からは11ヶ月練馬光ヶ丘病院で研修した中野先生が糸魚川での研修をスタートしています。

これからも皆さんの温かい指導を何卒よろしくお願いたします。



賀集 理功 先生
かしゅうりく



北澤 祥平 先生
きたざわ しょうへい



清水 崇行 先生
しみず たかゆき

◎ 初期臨床研修医の先生方の4月から6月までの研修先

		4/1-4/6	4/7-4/13	4/14-4/20	4/21-4/27	4/28-5/4	5/5-5/11	5/12-5/18	5/19-5/25	5/26-6/1	6/2-6/8	6/9-6/15	6/16-6/22	6/23-6/29
基幹型 2年目	田中克延	救急		麻酔		精神科 (さいがた)		産婦人科 (柏崎医療センター)						
	吉田沙央	産婦人科		腎透析内科		産婦人科 (柏崎医療センター)		精神科 (さいがた)						
	中野真耶	眼科		整形外科				外科						
基幹型 1年目	賀集理功	消化器内科				腎透析内科								
	北澤祥平	循環器内科				整形外科		消化器内科						
	清水崇行	小児科 (練馬光ヶ丘)		総合診療科 (練馬光ヶ丘)										

◎ 卒後臨床研修評価機構 (JCEP) 受審のご報告とお礼

3月11日に卒後臨床研修評価機構 (JCEP) のサーベイヤー (審査員) 4名が当院の臨床研修を評価するために来院されました。受審するにあたり院内の皆さんの多大な御協力本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。数年かけて環境を整備し、当院の臨床環境を生かした独自の研修内容の審査いただきました。

サーベイヤーの先生方からは審査中、審査後に沢山のアドバイスとお褒めの言葉をいただき、今後の臨床研修の充実にヒントとなりました。

臨床研修の質の改善、ならびにプログラムに基づく研修の質の向上に努めていることを示す受審証をいただき審査は無事終了いたしました。審査の結果は約1~2ヵ月半後に届きます。届きましたら皆様にご報告いたします。



糸魚川総合病院 臨床研修の理念

1. 当院の理念、基本方針のもと、社会人としての規律を守り、**医師としての自主性と高い倫理観**を持った思いやりのある人格を涵養する。
2. 医学および医療の果たすべき役割を認識しつつ、**科学的根拠に基づいたglobal standardのプライマリ・ケア**を実践し、基本的診療能力を身に付ける。
3. 将来個々が目標とし、かつ社会から求められる医師として**研鑽しつづける能力**を身につける。

糸魚川総合病院 臨床研修の基本方針

1. **地域医療を担う**唯一の総合病院としての病院の役割を理解し、全人的な視点からプライマリ・ケアを研修することで、基本的な診療能力 (知識、技能、利他的な態度) を習得する。
2. **他職種と連携**して地域医療の現状を理解し経験する。
3. 質の高い医療を提供するよう、**学会に積極的に参加するなど生涯に渡って学び続ける姿勢**を養う。
4. 臨床研修には協働型臨床研修病院を含む全ての病院職員が参画し、**研修医とともに学ぶ**。
5. 医療安全と指導体制を充実させて、研修医の身分を保証し、労働条件の改善に努め、臨床研修の効率を高める。



◎ 2023年度 初期臨床研修 修了式



澤田泰成 先生 菊地慶彦 先生 小林春彦 先生 平井康隆 先生

石巻赤十字病院 外科専攻医 (消化器外科) 耳原総合病院 内科専攻医 (腎臓内科) 諏訪中央病院 総合内科専攻医 群馬大学医学部付属病院 皮膚科専攻医

小林先生は「ドクターG Next」(5月6日(火曜日祝日)午後7時30分からNHK総合にて放映)に出演!是非ご視聴ください。

2023年4月から当院で初期臨床研修を行っていた4名全員が研修を修了し、3月13日に修了式を行いました。皆、希望する病院、診療科へ専攻医登録することができました。新天地に向けエールを送ります!

◎ 新潟県医師会 令和6年度 研修医奨励賞にて澤田泰成先生が優秀賞を、菊地慶彦先生が奨励賞を受賞



新潟県医師会では医師会として取り組むべき課題や対策について考える機会を与える目的として研修医奨励賞を募集しています。前年度審査の結果、当院から菊池先生、澤田先生が受賞され3月に表彰を受けました。お二人とも研修中に独自に見出したこの地域の課題からの発表でした。

糸病HP初期臨床研修のブログにて掲載しております。是非ご一読ください。

澤田先生 (優秀賞) 「糸魚川総合病院の初期臨床研修から考察する今後の上越地域医療のあり方」
菊池先生 (奨励賞) 「糸魚川にみる高齢社会における救急養成の増加とその対策について」

◎ 2025年 冬の研修医特別プログラム、イベント

<その1 笹野先生による「集中治療ワークショップ」(1/15土曜日)>

HCUに準じたOne care病床運用開始特別企画として、沖縄県の中頭病院 集中治療科部長 笹野幹雄先生にお越しいただき「集中治療ワークショップ」を開催しました。1病棟を中心に多くの看護師さんが参加し、一緒に臨床に役立つ集中治療を学びました。



<その2 プロフェッショナルリズムワークショップ(2/22土曜日@上越総合病院) (不識庵) >

上越総合病院長の笹島先生が中心となり開催されたプロフェッショナルリズムに、吉田先生が参加をしてくれました。各チームに分かれて意見を出し合う中で、普段とは違う視点からの意見もあり、気づきを多く得られたWSになりました。

<その3 第9回研修医同窓会 (6年振り) (2/23日曜日) >



6年振りに開催した研修医同窓会、寒波襲来の大雪で交通網の心配もある中、17名もの研修医&関係者のOBOGが集まり無事開催することができました。時間が経っても糸魚川に集まれば以前のまま盛り上がり、あつという間の楽しい時間でした。次回は2年後?3年後?当院研修医と関わった方どなたでも参加可能です。皆さんも是非次回ご参加ください!

<その4 志水先生による「臨床推論」(3/8土曜日@柏崎総合医療センター) (不識庵) >

上越地区研修サークル「不識庵」主催の臨床推論。今回は柏崎総合病院 研修1年目の先生に症例提示をしていただき、獨協医科大学 総合診療科 教授 志水太郎先生の豊富な知識から抑えるポイントなどを解説していただきながら初期対応について学んできました。

<その5 種市先生による「こどもの虐待の知識と対応」イブニングセミナー特別企画 (2/4火曜日) >

今年も富山大学医学部 小児科学 講師 種市尋宙先生にお越しいただき小児虐待について講義してもらいました。研修医だけでなく小児科やER担当の看護師さんも参加されました。小児虐待とともに、種市先生が糸魚川勤務時代の仕事が全国規模の運動につながったお話を拝聴し、一つ一つ丁寧に対応する大切さも学びました。



<その6 イブニングセミナー (最終週以外の火曜日、午後5時から) >

- 1/14 最新のCOVID-19治療 (塩野義製薬株式会社)
- 1/21 リスボン宣言、ヘルシンキ宣言と利益相反 (外科 澤田先生)
- 2/18 医療事故発生時の対応 (医療安全 吉田師長)
- 3/04 糸魚川総合病院における保健・予防医療について (地域連携支援部 MSW権守マネージャー)
- 3/18 セカンドオピニオンとは? (外科 金田先生)、緑内障に対応する (眼科 池田先生)



<その7 CPC/死亡症例検討会 (毎月最終週の火曜日、午後4時30分から) 縄田先生担当>

- 1月 外科 澤田先生「入所する施設内で車椅子で転倒後、視点が定まらず多動にて救急搬送され、てんかん発作と診断し入院するも翌日に死亡した87歳女性」
- 2月 内科 畝先生「癌性腹膜炎によって死亡した横行結腸癌の1例」
- 3月 ER 吉田先生、縄田先生「新型コロナウイルス感染症で入院後に死亡した一例」

編集後記: 卒業・入学・移動など新生活に入られた方も多いのではないのでしょうか。当院では4名の先生が初期臨床研修を修了されました。入職して半年と関わらせていただいた期間は短いですが、修了式では涙を堪えることができませんでした。年々涙もろくなってダメですね...3月はたくさんの感動で泣いたので、4月は笑顔あふれる月になりたいと思います。(臨床研修担当事務 KH)